舞鶴小学校 学校だより	友の手を引く	２０１９年度 １２月１８日 文責 校長　渡邉　豪

※学校だよりのタイトル『友の手を引く』は，甲府市出身の宮沢和史さんに作詞作曲していただいた，舞鶴小学校の校歌の歌詞の一節です。

令和元年が終わろうとしています・・

今年は新元号が発表され、気分も新たに令和元年がスタートした記念すべき年です。５月１日に令和がスタートしたと思ったら、もう１２月も中旬です。改めて時が経つのは早いものだと実感しているところです。学校では２学期のまとめを行い、その反省を踏まえて新年に各自が目標を持てるような指導を行っています。今年を振り返り、新たな目標や目指すべき方向を決める。これを今の自分なりにきちんと考えながら行うことに、とても大きな意味があります。新たな目標を胸に、心して新しい年に踏み出して欲しいと思います。

No TV・ゲーム・スマホ Dayの取り組みについて

１１月１２日に**「Ｎｏ　ＴＶ・ゲーム・スマホ　Ｄａｙ」**の取り組みについての通知を、各家庭に配布させていただきました。今年度の西中学区３校（舞鶴小、池田小、西中）の連携事業《試行》として、初めてこの取り組みを行いました。事前に３校連携校長会でこの取り組みについて協議し、西中に兄姉がいる児童も多いので、西中の２学期期末テストの学習強化週間（11月 19 日～ 25 日まで、部活動等無しで通常より早く下校してテストに向けて勉強する期間）に合わせて**「Ｎｏ　ＴＶ・ゲーム・スマホ　Ｄａｙ」**の取り組みのお知らせをしました。この期間は、家庭で「テレビ」を消し、「ゲーム」をしないようにし、「スマホ」を使うのをやめ、児童が家庭学習に集中できる環境を作ろう、という取り組みです。初めての試みであり家庭の都合もあるので、できる範囲での実施をお願いしました。

また、《試行》として取り組んだので、「可能であれば，下の用紙に取り組んでみたことや感想などお寄せいただけると幸いです。」 という表記のみでアンケートを実施しました。

【お寄せいただいたアンケート結果】

１　回収数　８１（回収率３２．７％）

①実施状況　　実施した・・７３　　実施しなかった・・８

②実施した内容　・テレビを消した・・・・・・５９

・ゲームをしなかった・・・・６４

・スマホを使用しなかった・・５６

２　主な感想【寄せられた感想の一部です】

〇学習している際は、普段からテレビを消し、ゲームをしていないが、親がスマホを見て

いたりすると気が散るので、気を付けたいと思えた。
〇とてもよかった。代わりに読書の時間が増えたり、穏やかになっていた。また実施してほしい。学校からと言えば、子どもも納得してくれるので。
〇帰宅後の学習時間に実施した。日頃、わが子はゲーム、スマホはやらないので、テレビについて取り組み、親はスマホに取り組んだが、日常空き時間にスマホを見るクセがついてしまい、ふと使っていたりと、大人の方がなかなか集中できていないことに気付かされた。今後、子どものためにもこの活動を続けていきたい。
〇時間が有効に使え、早く寝ることができた。テレビがこんなに時間を無駄にしていたとは、と改めて感じた。
〇８日間実施した。学校からのお知らせがあったことで、本人も意識をもって取り組めた。
〇ゲームやスマホについては、家族と使い方についてよく話すことが大事だと思う。
〇ゲーム・スマホは使わない家庭だが、テレビは付けっ放しが日常だったので、意識的に消した。見るものがないと、自分でやれることを探し、進んで家庭学習をしていた。
〇今回の取組は非常に良いものと感じる。子どものスマホ・ゲームが問題視されている中での取組だけあって、今後も続けてほしいと思う。
〇テレビの代わりにラジオを流してみたりした。テレビをつけないと子どもと話す時間が増え、カードゲームをしたり、家族のふれあう時間が増えて新鮮ないい経験だった。
〇２日間、ゲームとユーチューブをしない日とした。本人もその時間を有意義に過ごすことができ、今後も毎週日曜日は同じように過ごすと自ら言い出した。家庭ではなかなか指導が難しいので、このような取組を学校でして頂いて有り難いと思っている。
〇家庭で学習する際には、いつもテレビもゲームもせず、静かな中で学習している。また、休日は、朝起きてすぐに学習する時間を自分で考えて作っている。

インターネット接続機器の利用 要注意!!

Wi-Fi が各家庭や公共機関、様々な施設に普及し、『インターネット接続機器』の Wi-Fi 設定をすれば、常時使用可能な状態に近づいています。当然、携帯電話事業者が提供する通信網を使用する機器は、どこでもインターネット接続可能です。

ここで重要なのは、上記の取り組みのように『利用時間と利用内容のコントロール』ができるかどうかと、『インターネット接続機器』についての知識を大人が有するかどうかです。

『インターネット接続機器』とは、スマートフォンやパソコン、タブレットはもちろんインターネット接続ができるゲーム機や携帯音楽プレーヤーも含みます。これらはインターネットを介して様々な情報を入手できるだけでなく、簡単に知らない人たちとネット上でつながることができます。最近の子どもにかかわる事件を考えると、ネット上での見知らぬ人たちと簡単につながることの怖さを、改めて実感している保護者の方も多いと思います。

今回は、**「Ｎｏ ＴＶ・ゲーム・スマホ Ｄａｙ」**の取り組みについてのお知らせが中心ですが、今後、『インターネット接続機器』とのつきあい方にふれていこうと考えています。